



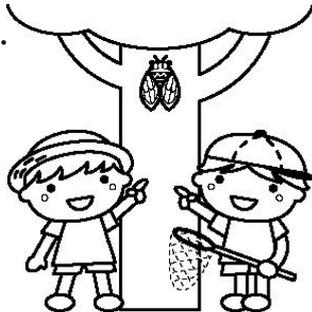
平成29年度の研究主題

## 「じっくりとモノ・ヒト・コトに関わりながら考えて遊ぶ子を育てる」

「夏休みのレポート」ありがとうございました。“親子でじっくり、とことん遊んでみたいこと”“生活の中でお手伝いや、一緒に取り組みたいこと”を、お子さんが興味関心をもっている「モノ・ヒト・コト」に目を向けて取り組まれたことで、お子さんの「大好きなコト」に改めて気付くことができたり、お子さんの「キラリ！」と光るところを見付けたりした親ごさんがたくさんいたようです。子どもたちにとっても、きっと心に残る素敵な夏休みになったのだらうと感じました。今回の園便りでは、その中から一部を御紹介したいと思います。

### 親子でじっくり、とことん遊んだこと

子どもが隊長で探検するコースや何を見付けるかなど、全て子どもに決めてもらい親子で探検しました。近場の公園で、きのこやセミの抜け殻を発見しました！子どもの案で、拾ったまつぼっくりの付いた枝にセミの抜け殻をくっつけて作品にしました（ひかり）



大好きなお花のあるスポットや、公園、花屋、ホームセンターなどにほぼ毎日出掛けました！買ってもらった図鑑を見て「これだ！」「さっきの〇〇っていうんだね！」と目を輝かせていました。名前の分からないお花を自分で探してみようという姿に成長を感じました。（かおり）



体力も付いてきたので、外（広い広場など）にたくさん行くことができました。登ったり降りたり、長距離を歩いたり体を動かす事を家族で楽しめるようになりました。（ことり）



### 生活の中でお手伝いや、一緒に取り組んだこと



堆肥置き場を自作した際、電気ドリルを使ってみたり、熱心に補助してくれました。余った木材で秘密基地を作りました。（ひかり）

ご飯の時に、コップやお皿を並べてくれました。みんなの分の麦茶を入れてくれたり、とてもよくお手伝いをしてくれました。（かおり）

虫が怖くて絶対に触ることもできなかったが、カブトムシのお世話を通して少しずつ慣れて、自分から触れてみたり、エサやりや、水やりにも興味をもって、お手伝いしてくれました。（ことり）

今回の夏休みで、ご家族で遊びや生活の様々な場面で「じっくりと（試行錯誤）」取り組んだことで、自分でできることが一つ増えたり（自立心）、今まで怖くて挑戦できなかったことに挑戦して「自分ってすごい！（自信）」と感じたり、家族のためにいろいろなお手伝いをして喜ばれて嬉しい気持ちになったことで「自分は家族の役に立ってる！（自己有用感）」と感じたりなど、目には見えない、「心の力」が育っていると感じました。そのような力は「モノ・ヒト・コト」への興味関心が広がっていき、自分から「〇〇やりたい！」「〇〇したい！」という、意欲につながる大切なパワーの源になったと考えます。

このようにパワーアップした子どもたちと一緒に、2学期も心を動かしながら、考えて遊ぶ楽しさを感じられる経験を大切にしていきたいと思えます。ご紹介できなかった中にも、子どもたちの素敵な姿、家族で取り組まれた微笑ましい姿がたくさんありました。それらは大切に今後の研究につなげていきたいと思えます。夏休み、いろいろなヒト・モノ・コトに自分から関わられるように、保護者の皆さまも「考え・工夫して」くださって、本当にありがとうございました。2学期もよろしく願いいたします。